

単体流動性カバレッジ比率に関する事項

本邦では2015年3月末より、バーゼルⅢの流動性比率規制である「流動性カバレッジ比率(以下、「LCR(Liquidity Coverage Ratio)」という)」が導入されております。当行は国際統一基準を適用の上、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその経営の健全性を判断するための基準として定める流動性に係る健全性を判断するための基準」(平成26年金融庁告示第60号。以下、「流動性カバレッジ比率告示」という)に定められた算式に則り、当行単体ベースについて算出しております。

■単体流動性カバレッジ比率に関する定性的開示事項

1.時系列における単体流動性カバレッジ比率の変動に関する事項

当行単体における2019年度第1四半期及び第2四半期のLCRは、次頁の「単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項」に記載の通り、2015年3月末の規制適用以降、大きく変動することなく安定的に推移しております。

2.単体流動性カバレッジ比率の水準の評価に関する事項

LCRの最低水準は100%と流動性カバレッジ比率告示に定められております。当行単体のLCRは最低水準を上回っており、特段の問題はないものと考えております。なお、今後のLCRの見通しが開示された比率と大きく乖離することは想定しておりません。また、LCRの実績値は当初の見通しと大きく異なっておりません。

3.算入可能適格流動資産の合計額の内容に関する事項

当行単体が計上している算入可能適格流動資産の通貨又は種類等の構成や所在地に著しい変動はありません。また、主要な通貨(通貨建て負債合計額が当行単体の負債合計額の5%以上を占める通貨)において、算入可能適格流動資産の合計額と純資金流出額の間に着しい通貨のミスマッチはありません。

4.その他単体流動性カバレッジ比率に関する事項

当行単体のLCRは、流動性カバレッジ比率告示第29条に定める「適格オペレーショナル預金に係る特例」及び同告示第38条に定める「シナリオ法による時価変動時所要追加担保額」を適用しておりません。また、同告示第60条に定める「その他契約に基づく資金流出額」には、「信託勘定借」等を計上しております。

■単体流動性カバレッジ比率に関する定量的開示事項

(単位：百万円、%、件)

項目		2019年度第1四半期		2019年度第2四半期	
適格流動資産(1)					
1	適格流動資産の合計額	58,637,142		57,664,531	
資金流出額(2)					
		資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額	資金流出率を乗じる前の額	資金流出率を乗じた後の額
2	リテール無担保資金調達に係る資金流出額	47,011,351	3,672,788	47,717,811	3,714,312
3	うち、安定預金の額	14,699,069	440,972	15,115,604	453,468
4	うち、準安定預金の額	32,312,282	3,231,816	32,602,206	3,260,844
5	ホールセール無担保資金調達に係る資金流出額	63,158,584	30,930,580	62,219,748	31,238,727
6	うち、適格オペレーショナル預金の額	-	-	-	-
7	うち、適格オペレーショナル預金及び負債性有価証券以外のホールセール無担保資金調達に係る資金の額	58,661,224	26,433,221	57,392,934	26,411,912
8	うち、負債性有価証券の額	4,497,359	4,497,359	4,826,815	4,826,815
9	有担保資金調達等に係る資金流出額		71,951		116,303
10	デリバティブ取引等、資金調達プログラム及び与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	20,023,261	6,248,070	21,663,693	6,396,113
11	うち、デリバティブ取引等に係る資金流出額	259,157	259,157	293,809	293,809
12	うち、資金調達プログラムに係る資金流出額	367,928	367,928	404,141	404,141
13	うち、与信・流動性ファシリティに係る資金流出額	19,396,175	5,620,984	20,965,743	5,698,163
14	資金提供義務に基づく資金流出額等	5,774,047	3,213,243	6,122,047	3,239,645
15	偶発事象に係る資金流出額	67,016,620	1,257,316	67,019,371	1,237,977
16	資金流出合計額		45,393,948		45,943,076
資金流入額(3)					
		資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額	資金流入率を乗じる前の額	資金流入率を乗じた後の額
17	有担保資金運用等に係る資金流入額	1,286,735	251,224	1,057,528	130,454
18	貸付金等の回収に係る資金流入額	3,587,187	2,920,679	3,351,714	2,633,143
19	その他資金流入額	1,902,888	794,524	1,733,979	887,313
20	資金流入合計額	6,776,810	3,966,426	6,143,222	3,650,909
単体流動性カバレッジ比率(4)					
21	算入可能適格流動資産の合計額		58,637,142		57,664,531
22	純資金流出額		41,427,521		42,292,166
23	単体流動性カバレッジ比率		141.5%		136.3%
24	平均値計算用データ数		59件		62件

(注)1.2015年3月末の規制適用以降のデータは、三井住友フィナンシャルグループのホームページに掲載しております。

(https://www.smfg.co.jp/investor/financial/basel_3.html)

2.平成27年金融庁告示第7号に基づき、日次平均の値を算出しております。

なお、取引先の属性情報等の一部データについては、月次又は四半期次のデータを使用しております。

■適格流動資産の内訳

(単位：百万円)

項目		2019年度第1四半期	2019年度第2四半期
1	現金預け金	50,713,525	52,572,366
2	有価証券	7,923,616	5,092,164
3	うち、国債等	5,561,107	2,960,439
4	うち、地方債等	102,533	31,116
5	うち、その他債券	899,153	768,179
6	うち、株式	1,360,823	1,332,431
7	適格流動資産の合計額	58,637,142	57,664,531

(注)上記金額は、バーゼルⅢの流動性比率規制における適格流動資産の金額であり、財務上の金額と一致するものではありません。

なお、バーゼルⅢの流動性比率規制における算入可能率を乗じた後の金額を記載しております。